【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年6月8日(2023.6.8)

【公開番号】特開2021-192778(P2021-192778A)
【公開日】令和3年12月23日(2021.12.23)
【年通号数】公開・登録公報2021-062
【出願番号】特願2020-114464(P2020-114464)
【国際特許分類】
　*Ａ６１Ｃ　5/42(2017.01)*
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｃ　5/42

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月1日(2023.5.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
把持部とその先の針状部とから成る歯科用ファイルの、前記針状部の少なくとも先端部付近の表面に粉末状の研磨材を付着させて成る、歯科用ファイル。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
　上記課題は、把持部とその先の針状部とから成る歯科用ファイルの、前記針状部の少なくとも先端部付近の表面に、粉末状の研磨材を付着させて成る歯科用ファイルを提供することによって達成される。粉末状の研磨材が付着していることにより摩擦低減が見られるようになり、ファイルの根管からの抜けが良くなる。この結果、施術にこれまでよりも強い力が不要となり、手指の疲労が少なくなって、集中力を持ち続けることが可能になる。従ってガッタパーチャの除去もより迅速により良く行うことが出来るのである。なお粉末状の研磨材の付着は、針状部の先端部付近のみならず全体に亘るようにしても良い。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
　そこでこのような電動式往復運動発生具に、この発明の把持部とその先の針状部とから成る歯科用ファイルの、前記針状部に粉末状の研磨材を付着させて成る歯科用ファイルを取り付けて用いるのである。粉末状の研磨材が付着していることにより摩擦が低減し、ファイルの根管からの抜けが良くなり、ガッタパーチャの除去もより良く行うことが出来るようになる。そして何よりも電動式往復運動発生具の助けがあるので、施術がスピードアップすると言う利点がある。